

- 活動している水辺：釜無川
- 第1回開催状況：平成27年 10月2日（金）約20人参加



南アルプス市に残る霞堤

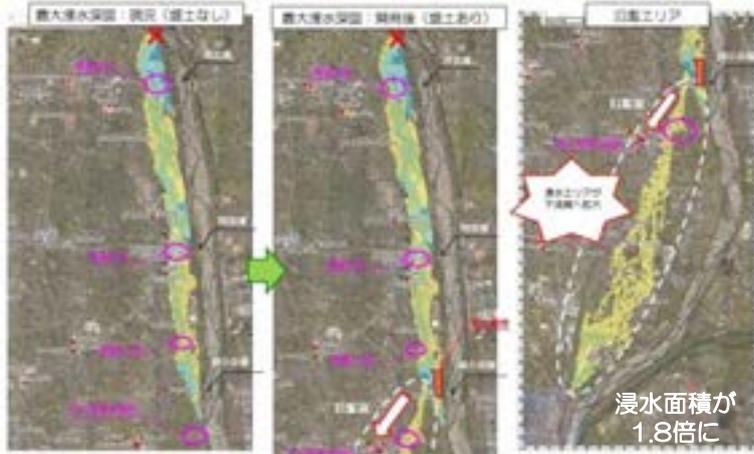
○南アルプス市では、歴史的治水施設である霞堤が今もなお機能していて、超過洪水に対しても減災効果があるということがわかりました。しかし霞堤の機能は土地の開発によって失われつつある状況です。
○そこで霞堤内の土地を、開発規制するだけでなく、賢く利用することで保全できないかということ考えた結果、ミズベリング研究会を活用したプロジェクトが動き出しました。

霞堤を活かした防災まちづくり

○南アルプス市には、歴史的治水施設である霞堤が残されており、上流の堤防が決壊した場合、その氾濫水を再び河川に戻し、氾濫を拡大させない機能が今もなお維持された状況となっている。
○また、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化している状況によりH27年度に水防法が改正され、想定し得る最大規模の洪水への対策として霞堤の減災効果が期待されている。
○しかし、市街化の進展により、霞堤の周辺地域の開発が進むことで霞堤の氾濫戻し機能が失われることが懸念されている中、保全の取り組みを行っている。

◀南アルプス市に現存する霞堤の効果▶

破堤を想定した、はん濫シミュレーションによる検証
（【検証条件例】上高砂地区破堤：鏡中条盛土なし・あり）



◀開発により機能が失われつつある霞堤▶



市街化の進展により、霞堤の機能が失われつつある。
→だが、現存する南アルプス市鏡中条地区の霞堤（将監堤）は洪水時の機能が期待できる。



霞堤機能の保全が重要

防災まちづくり×ミズベリング 南アルプス懇談会の開催！

日付：平成27年10月2日
場所：南アルプス市本庁舎
参加者：約20名



コラボイベント開催までの流れ

霞堤を保全するために霞堤内の土地の活用策を提案する。



農地として維持するため地域資源を活用し地域活性化を狙う。



地域資源の観光資源化を目指すイベントを行う。



ミズベリング・プロジェクトの活用

地球いきいきプロジェクト×ミズベリング・プロジェクト
コラボイベントの開催！



「霞堤を活かした防災まちづくりの取り組み視点について」
甲府河川国道事務所
調査第一課 黒沼課長



「富士川水系ミズベリング・プロジェクトの紹介」
甲府河川国道事務所
調査第一課 上林技官



「地球いきいきプロジェクトの紹介」
(株)JTBC関東 地域交流事業担当
久保田マネージャー



今後の取組の進め方についての
意見交換会

地球いきいきプロジェクトの開催！



JTB地球いきいきプロジェクトは、「地域を元気に、人を笑顔に」という理念の元、観光客、地域住民、JTBグループの社員が一体となり、観光地の清掃活動や、地域の文化を学ぶことで地域活性化を目指すJTBグループの社会環境活動（CSR）です。南アルプス市では、平成27年10月25日にミズベリング・プロジェクトとコラボし、歴史的治水施設の清掃活動と武田信玄伝承の治水事業の学習などを行いました。

http://www.jtbcorp.jp/jp/csr/clean/2015/images/report27_report.pdf



＜歴史的治水施設の清掃活動＞
→観光ツアー化？



＜歴史的治水事業の学習＞
→歴史・文化・防災教育



＜蛇籠への石の入れ方＞
→蛇籠への投げ込み体験



＜景観林の保全について＞
→かわまち計画へ

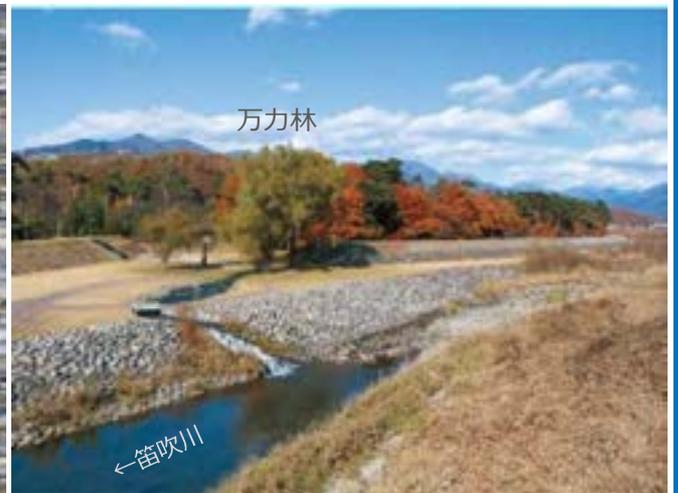
■主催者：南アルプス市、甲府河川国道事務所

■問合せ先：南アルプス市 建設部 都市計画課 [TEL：055-282-6394]

・霞堤を活かした防災まちづくりホームページ：

<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/koufu00457.html>

- 活動している水辺：笛吹川
- 第1回開催状況：平成28年 1月19日（火）約100人参加



山梨市では、まちづくり計画における重点施策として、河川等の身近な地域資源を活かした観光・交流ネットワーク構築、地域振興、防災まちづくり等を推進しています。また、根津橋から亀甲橋の間の万力林を含めた笛吹川で、水辺の新しい可能性を創造していくミズベリング・プロジェクトを進めています。

そこで、山梨市では水辺に関心を持つ約100名に集まっていただき、自由な発想で意見を出し合うミズベリング懇談会を開催しました。今後は甲府河川国道事務所と連携して、かわまちづくり計画を推進していく方針です。

ミズベリング懇談会の開催！



ミズベリング・
プロデューサー
山名氏



山梨市
望月市長



山梨大学
砂田名誉教授



(株)JT B 関東
久保田マネージャー



甲府河川国道事務所
田中事務所長



山梨市 望月市長 あいさつ



甲府河川国道事務所 田中事務所長
ミズベリング・プロジェクトについて



山梨大学 砂田名誉教授
歴史的治水施設(万力林)について

懇談会で出た意見



○会議参加者（団体）

山梨市議会、山梨市13課、山梨県、山梨市観光協会、商工会、万力林保全・再生計画策定委員会、峡東漁業協同組合、笛吹川沿岸堰連合会、加納岩総合病院、日下部記念病院、建設コンサルタント7社、報道3社、山梨大学、県立産業技術短大、フェリス女学院大学

○出た意見

- ・水辺にもっと近づけるようにしたい
- ・河畔林である万力林を保全したい
- ・千鳥の来る砂州を作りたい
- ・パラグライダーのランディングポイントを作りたい
- ・サイクリングコースを整備したい



山梨市 野中理事



赤松を保全したい！

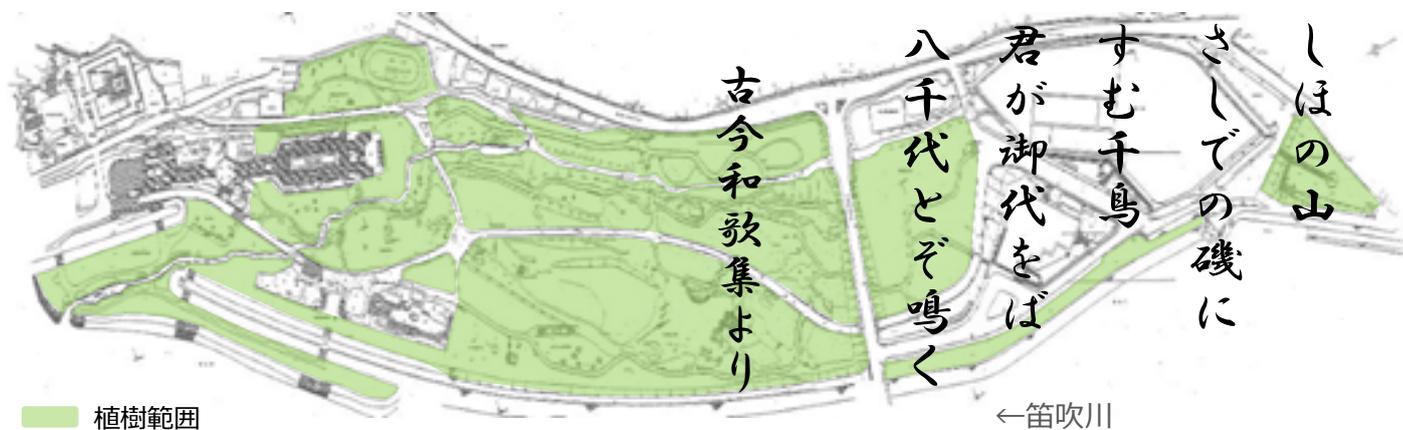


以前は千鳥が来ていた



横浜からフェリス女学院の学生も発言

かわまちづくり計画へ



山梨市では、ミスベリング懇談会の意見を踏まえ、かわまちづくり計画の策定を進めています。万力公園については、水害発生防止と万力林の保全のため、万力公園にて赤松の性能評価や植樹スペースの整備をおこなっていきます。また、笛吹川の河川敷に市鳥である千鳥の生息域、観光資源としての活性化を図るため、河川敷の整備をおこないます。それらに加え、万力公園を観光資源としての活用を図るため、パラグライダーランディングポイントや、サイクリングコースの整備をおこないます。

ハード整備だけでなく、ソフト面においても地元の市民、法人、団体等と連携を図り、万力林保全・再生の為の活動をおこなっていきます。

■主催者：山梨市

■問合せ先：山梨市 まちづくり政策課 [TEL：0553-34-8063]

- 活動している水辺：富士川水系 荒川
- 第1回開催状況：平成28年 2月24日（水）約40人参加予定



去年7月7日、MIZCANを開催し、昇仙峡の未来に乾杯を行った昇仙峡観光協会。
また、平成28年の2月にはホスピタリティー表現の勉強会を開催しました。水辺にものを作るという発想から一度離れ、人が来たくなる、そしてそこに滞留したくなる観光地にするためにはどうしたらいいのか。東京大学から堀先生をお招きし、もてなしという観点からの地域整備について勉強しました。

MIZCAN昇仙峡観光協会の開催！

日付：平成27年7月7日
場所：昇仙峡(国立公園)
参加者：約20名

昇仙峡観光協会の会員約20人が水辺で昇仙峡の未来に乾杯をしました。

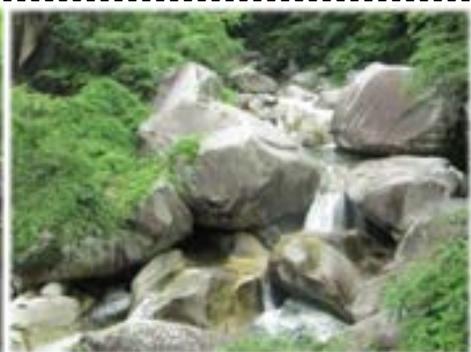
これからの昇仙峡は…

「見る」
観光

➔

「体験型」
「参加型」
観光

を指す



昇仙峡ミズベリング勉強会in国立公園の開催！

日付：平成28年2月24日
 場所：昇仙峡 ワイン王国2階
 参加者：約40名



昇仙峡の活性化を継続的に研究してくれる
 大学生グループの募集

- 指導教員を含む大学生グループ（6人まで）
- 県外大学生の特典
 - ・ 宿泊場所は昇仙峡観光協会が手配・負担
 - ・ 甲府市内の移動は甲府河川国道事務所が手配

○昇仙峡観光協会HP

<http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

<研究の活動イメージ>

1年目

- ・ 昇仙峡の現地調査・研究
- ・ キックオフイベントの企画
- ・ キックオフイベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

2年目

- ・ 昨年度の課題の抽出
- ・ 現地調査
- ・ イベントの企画
- ・ イベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

3年目

- ・ 昨年度の課題の抽出
- ・ 現地調査
- ・ イベントの企画
- ・ イベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

継続的な研究



ホスピタリティー表現とは

出典：ミツカン水の文化センターホームページ 「水の風土記」
http://www.mizu.gr.jp/fudoki/people/027_hori.html

ホスピタリティー・ディベロップメント

講師 堀 繁
 東京大学 地域資源計画学研究室

- ・ 一番大事なことは、もてなしという観点からの地域整備です。楽しい体験は、持続してリピートになる。
- ・ こうした楽しい体験を生むのは、「歩いてみたい道」「のぞいてみたいお店」「ゆったりくつろげる休憩スペース」等です。つまりは、「私のことを、とても大事にもてなしてくれるという雰囲気」、それがホスピタリティー表現ということなんです。

URL:<http://www.mlit.go.jp/road/tech/jigo/h17/pdf/report17-5.pdf>



写真A：車道よりも狭い歩道幅員
 人を大切にしていないことが伝わる



写真B：車道よりも広い歩道幅員
 人を大切にしていることが伝わる

■主催者：昇仙峡観光協会

■問合せ先：昇仙峡観光協会 [TEL：055-287-2101]

・ ホームページ：<http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

■活動している水辺：狩野川

■第1回会議開催状況：平成26年11月15日（土）@静岡県沼津市 60人参加

かのがわ全域、キラッキラに!!

狩野川は、静岡県天城山系に降った雨を集めて伊豆半島を南から北へ流れる一級河川です。「ミズベリングかのがわ」は、狩野川を存分に楽しむ**チャレンジャー**の集まりです！

第1回会議は、平成26年11月15日(土)、沼津市で開催しました。狩野川でやりたいこと、沼津がもっとおもしろくなる案、いろんな話をしました。



ミズベリングかのがわの沼津での拠点は狩野川の沼津市上土地区です。階段堤が整備されて、ちょうど川を囲むステージのようになっています。

そこを「かのがわ風のテラス」と名付け、地元のおいしい物が並ぶマーケットや、いろいろな演奏イベントが行われています。また、一般の方々もバーベキューをしたりして、いつも楽しんでいます！



風のテラスでは、実験として、樹木の植え込みを抜いて、誰もが川を眺めて過ごせる芝生の場所を作ってみました。



半年で



狩野川の楽しみは、よい上流へ!! そして港へも! <上流アクティビティ & みなとオアシス沼津>



ミズベリングかのがわ 第2回会議!

第2回会議開催状況：平成27年11月23日（月・祝）@静岡県伊豆の国市 65人参加

狩野川 中・上流域の静岡県伊豆の国市で開催された第2回会議。
 今回の主役は、伊豆の国市の中学生たちでした!

中・上流域では、川の流れ方は沼津とはまた違ってきます。自然豊かな狩野川 中・上流域をどうやって楽しむか! 考えました。

ミズベリング GOっ!!



狩野川で泊まって楽しむ! 楽しめ!!

お花見でカヌー 橋までカヌー



出てきたのは、四季折々のカヌー体験や川べりで寝泊まりなど、狩野川そのものに触れて、楽しんじゃおうというアイデア!



沼津港が「みなとオアシス」制度に認定されて、もう8年。カヌーで狩野川を下って、海まで行って、沼津港へ回っちゃうのも、おもしろいかも!! 川へ遊びに行ったのに、お土産は海産物! なんてことに!



沼津港の名物は、おいしいアジの干物!

…などを、これから、ほんとうに実施するために、具体的な行動を考え中です。もうすぐ暖かくなるから、いろいろ楽しくなってきますよー。

そして、これからの「ミズベリングかのがわ」は… ミズベリングかのがわ 第3回会議へ!!

沼津市あげつち地区は、楽しいイベントがいつも繰り広げられている場所になりました。狩野川沿いではいろいろな整備が進み、美しい水辺への関心もますます広がりつつあります!



■主催者：ミズベリングかのがわ会議事務局（沼津河川国道事務所）

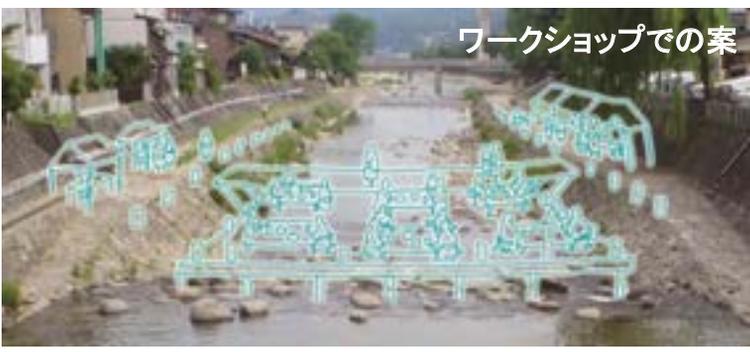
■問合せ先：国土交通省沼津河川国道事務所河川管理課【TEL：055-934-2011】
 ・E-mail：cbr-nmz-kawakan@mlit.go.jp
 ・Facebook：MIZU中部 <https://www.facebook.com/mizuchubu>

- 活動している水辺：宮川
- 第1回開催状況：平成27年 4月24日（金）60人参加

★身近な河川環境の「おもむき」を感じる事をテーマに活動中。

【4/24 ミズベリング飛騨高山会議】

ミズベリングの皆様をお招きし講演後、
どんな水辺が楽しいかを ワークショップ形式で実施。



【8/3・4 川床イベント開催】

2日間限定の川床や飲食ブースを設営し、身近な川の「おもむき」を感じるイベントを開催。2日目は雨天により途中中止とするも多くの来場者で賑わう。

当日までの様子はFacebook「川床を楽しまナイト」で発信中。
<https://www.facebook.com/kawadokonight/>



■主催者：公益社団法人高山青年会議所

■問合せ先：担当（住）※現在他運営組織の立上げを検討中。

- E-mail：shozo@takayama-dp.com
- ホームページ：なし
- Facebook： <https://www.facebook.com/kawadokonight/>

- 活動している水辺：瀬田川
- 第1回開催状況：平成27年 3月22日（日）60人参加

ミズベリング大津 瀬田川会議を平成27年3月22日（日）に開催。瀬田川のミズベに興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と新しい賑わい生み出すムーブメントを起こすワークショップを実施しました。

60名の方々にご参加いただき、たくさんの「瀬田川の未来のカタチ」アイデアが溢れ出しました!!!



■主催者：ミズベリング大津・瀬田川会議事務局（琵琶湖河川事務所）

■問合せ先：琵琶湖河川事務所 077-546-0844
 ・E-mail：biwakokasen@kkr.mlit.go.jp
 ・ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/

- 活動している水辺：西の湖
- 第1回開催状況：平成27年 9月27日（日）54人参加



■ミズベリング近江八幡会議の開催趣旨

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の一環として、滋賀県立大学や近江八幡市ならびに地域の事業団体等と連携し、地域人材育成拠点「地域デザイン・カレッジ」の運営や学術志向にとらわれない地域志向研究「公募型地域課題研究」に取り組んでいます。

これらの活動や研究の報告を含め、西の湖から八幡堀へと続く水辺空間の活用のあり方について考える「ミズベリング近江八幡会議」を開催しました。他地域での取り組みや規制緩和等の具体的な事例にも学び、地域活動者や有識者、学生らと共に、近江八幡の水辺の活用について具体的なプロジェクトを議論しました。

■西の湖について

近江八幡市の中心であり、安土と近江八幡の境界に位置する西の湖。古来より水上交通の要所として人々を支えてきました。水位の変化・戦後の干拓事業などにより、現在の西の湖の形が形成されています。約400種類の植物、約120種類鳥類、約50種類の魚介類が現在も生息しており、琵琶湖の内湖としての浄化機能を担保しています。西の湖は、国の重要文化的景観第1号やラムサール条約登録湿地、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観～祈りと暮らしの水遺産～」に選定されています。



■西の湖活用に関するこれまでの取り組み

- 旧近江八幡市と旧安土町の合併（平成22年3月21日）
- まちづくり四者連携協定締結（平成23年4月15日）
- 近江八幡まちづくり懇話会設置（平成23年6月14日）
- 近江八幡まちづくり会社検討委員会（平成24年9月）
- 「株式会社まっせ」設立（平成25年6月7日）
- >西の湖を軸とする地域活性化事業に着手
- 近江八幡まち・ひと・しごと創生市民会議（平成27年3月～）
- ミスベリング近江八幡会議 開催（平成27年9月27日）

○近江八幡まち・ひと・しごと創生市民会議

～観光地域づくり部会の取り組み～

平成27年3月から約半年間、市民参加による4回の委員会では、近江八幡の魅力やポテンシャルから、拠点を選定しその場所の未来像や今後の可能性について、アイデアを募り吟味し、「西の湖廻遊路計画」として下記の大きな方向性・ビジョンをまとめました。



河川敷の自転車道



西の湖南サイクリングロード沿い



西の湖園地公園周辺



■主催者：近江八幡デザイン・カレッジ（滋賀県立大学、近江八幡市、近江八幡商工会議所、安土町商工会、まちづくり会社(株)まっせ)

■問合せ先：まちづくり会社(株)まっせ [TEL：0748-47-2045]

- ・E-mail：info@massee.jp
- ・ホームページ：http://massee.jp
- ・Facebook：https://www.facebook.com/massee.jp/

- 活動している水辺：淀川、大川、土佐堀川、堂島川、東横堀川、木津川、道頓堀川、安治川
- 開催状況：平成26年10月11日（土）・12日（日）150人参加

◆水辺の新しい活用・可能性を考え、創造していく「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、大阪会議が10月11日（土）、12日（日）の2日間にわたって開催されました。

◇10月11日（土）13:30～18:00

水辺セッション 会場：堂島リバーフォーラム

◇10月12日（日）10:30～16:00

水辺スクール 会場：八軒屋浜、北浜テラス、道頓堀クルーズ

○水辺セッション 11日(土)

3つのテーマでワークショップが行われ、各テーマごとにパネリストから、これまでの水辺のアクションや、水辺の未来についての情報が提供され、水辺の文化、ビジネス、市民参加について意見が交わされました。

130名の参加者は、それぞれの視点で水辺を活かすアイデアを出し合いました。



① ミズベのアクティビティ・セッション

－水辺をまちの舞台にする活動をあつめよう－

水辺を舞台に何ができるか。

光のまちづくり、文化・アート、メディアのプロフェッショナルが意見を交わしました。



② ミズベのビジネス・セッション –水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう–



船やレストラン、アートによる地域の活性化など、ビジネスに繋がる水辺を議論しました。



③ ミズベのシビックプライド・セッション –水辺に人が集い語らうしくみを考えよう–



市民によるおもてなしの方法やまちづくり・都市開発、川をきっかけに未来を創造する考え方について意見交換しました。



◆ワークショップ振り返り



各セッションで参加者から出されたアイデアを会場の皆で共有し、意見交換を行いました。参加された皆さんそれぞれの活動のヒントを、得ていただきました。また、今後の活動についての宣言も行いました。

○水辺スクール 12日(日)

2日目は、中之島公園を散策し、北浜テラスでランチ、八軒家浜から道頓堀をクルーズして、水辺を活用した店舗・商業施設など、様々なプロジェクトについて主催者に話を聞く、非常に濃い体験していただきました。



■主催者：一般社団法人 水都大阪パートナーズ

■問合せ先：一般社団法人 水都大阪パートナーズ [TEL：06-6444-3110]

・ホームページ：<http://www.suito-osaka.jp/>

- 活動している水辺：淀川、大川、土佐堀川、堂島川、東横堀川、木津川、道頓堀川、安治川
- 第1回開催状況：平成27年10月9日（金）～11日（日）1,100人参加

- ◆2015年10月9日～11日の3日間にわたり、「ミズベリング世界会議in大阪」を堂島リバーフォーラムにて開催。
- ◆国内外の水辺で活動する方々、トップミズベラーが集結し、先進的事例の発信、水辺の未来・展開について議論されました。



○ミズベシンポジウム 9日(金)

サンアントニオ、バンコク、パリ、そして大阪の4都市のミズベキーマンより、それぞれの魅力溢れるミズベの事例、つかいこなしが披露され、活動を支える仕組みやこれからについて議論されました。



参加者 約500名



○ミズベワークショップ 10日(土)

国内で活躍する、30名を超える「トップミズベラー」が集結し、「見つける」「伝える」「設える」「育てる」「広げる」の5つのキーワードでワークショップを展開。



参加者 約300名



・WSで出たアイデアを、ブックに整理して配布

○ミズベ未来アクション 11日(日)

「大学連携・学生発表」関西を中心とした大学生が、「水」「アーバンデザイン」「IT/デジタル」をテーマに未来の水辺デザインを発表。

「基調講演・バトルトーク」基調講演、学生発表を聞いた後、民間・識者・行政からの豪華パネリストによる、バトルトークを実施。

それぞれの立場から、水辺の今後・未来像について様々な見解・意見が出されました。



学生発表



表彰状授与



山田整備局長挨拶



○ミズベ体験プログラム

ミズベリング世界会議と合わせて、ミズベ日本一！の水都大阪をお得に体験できるプログラムが盛りだくさん！ミズベリング世界会議 in OSAKA の開催に合わせて、淀川や大阪市内の水辺を体験・満喫していただける様々な体験プログラムを展開しました。

ミズベラバーズパーティー in 水都大阪



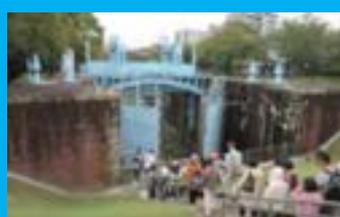
ウェルカムナイトパーティ



限定招待大阪ナイトクルーズ



淀川大堰・毛馬開門見学会



■主催者：ミズベリング世界会議運営会議

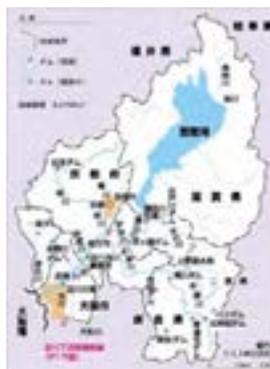
■問合せ先：国土交通省 近畿地方整備局 河川部河川環境課 [TEL：06-6942-0608]
 ・ホームページ：<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyou/index.html>

- 活動している水辺：淀川（河川公園十三地区）
- 第1回開催状況：平成27年 9月19日（土）約300人参加

～あなたの“+”が新しい淀川の魅力をつくる～

淀川は関西随一の河川として、滋賀、京都、大阪をつなぐ豊富な水と自然に恵まれた河川です。この魅力ある河川を、市民の憩いの場、新たな大阪・関西の観光拠点として活性化していくため、「淀川アーバンキャンプ2015」を開催し、新たな淀川の魅力づくりに向けた第一歩をふみだしました。

淀川に様々なツールやアイデアの“+”を試みたアーバンキャンプ。今後も、地域団体や民間企業等とともに、さらなる“+”の魅力づくりを進めていきます。



【淀川】
琵琶湖を水源とし、滋賀、京都を経て大阪湾に流れ込む

【淀川アーバン・キャンプ】

都心にいながら自然を楽しむ、都市型のアウトドアアクティビティ体験



●アーバンキャンプ・キッチン



非常時にも活躍するロケットストーブを使って、みんなでおいしいアウトドア料理体験！



●キャンピング・バー



グランピングテント内にキッチンカウンターを設置したバー。キャンプファイヤーも！



●水辺アクティビティ



超大型メガサップボード体験、
小型ボート操縦体験で
淀川を満喫。



●淀川クルーズ



梅田のビル群の夜景を眺め
ながら、淀川の水面を楽しむ
クルーズ。



●参加者アンケート

<淀川で楽しみたいこと>

- 1位 カフェ、レストランなどの飲食施設
- 2位 クルーズなどの水辺アクティビティ
- 3位 景色や夜景を楽しむ憩いの場
- 4位 キャンプサイト
- 5位 マルシェやフリーマーケット

<淀川にほしいもの>

- 1位 トイレ
- 2位 アクティビティのレンタルサービス
(テント、イス、テーブル、ランタン、自転車など)
- 3位 水道
- 4位 電源
- 5位 飲食のデリバリーサービス

●キャンプ・トーク ～淀川“+”の可能性

夕方から夜にかけて刻々と変化する大阪・梅田のビル群をバックに、キャンプファイヤーが灯ったアーバンキャンプサイトを眺める淀川の堤防で、ゲストスピーカーと参加者が、淀川“+”の可能性を話し合いました。



●「淀川活用ガイド」を作成

～あなたも淀川に“+”してみませんか？

民間事業者による賑わいづくりを積極的に受け入れ、「淀川アーバンキャンプ」を進めていこうと、「淀川活用ガイド」を作成・配布しています。

【十三地区の賑わい拠点イメージ(右側)】
ブリッジパークなど、シンボル空間の創出を提言
(平成27年2月、大阪商工会議所)



■主催：大阪商工会議所 共催：国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

■問合せ先：

大阪商工会議所域振興部 TEL：06-6944-6323 E-mail：chishin@osaka.cci.or.jp
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 TEL：072-843-2861

- 活動している水辺：宍道湖
- 第1回開催状況：平成26年 11月29日（土）60人参加

水の都、松江。
豊かな水辺が地域を支え続ける。
未来もそうあってほしいから、
今、水辺を振り返ってみよう。



宍道湖に沈む夕日

未来の水辺を考える場所、
ミズベリング松江会議で
ひとびとをつなげてみよう。
いっぺん、やってみーか。



宍道湖の未来を妄想するワークショップ

松江会議やってみたら、ミズベに友達ができた。
みんなミズベが好きで、ミズベにたくさんの思いがあった。
その思いは変わらず、新しいチャレンジが始まっている。



嫁ヶ島に向かって愛を叫ぶ



松江でも「ミズベリング・ゴー」

■主催者：ミズベリング縁、NPO法人水の都プロジェクト協議会

- 問合せ先：ミズベリング縁（出雲河川事務所計画課内） [TEL：0853-20-1761]
- E-mail：izumo@cgr.mlit.go.jp
- ホームページ：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/mizube/mizbering/index.html
- Facebook：「ミズベリング縁」で検索

山陰のミズベをつなげる「ミズベリング縁(えにし)」 説明書

- 山陰のみなさんと一緒にミズベのアイデアやチャレンジを考え、人をつなげ、コーディネートしながらミズベを盛り上げていく、行政だけでなく民間・NPOなども参加するチームです。
- 事務局は国土交通省出雲河川事務所に設置しています。
- ミズベを考えるときは、肩書きを捨て、まじめに面白いことを考えます。
- 毎週金曜日には定例会を開催し、お茶を飲みながらミズベを考える場所があります。
- たまに出張定例会も開催し、地域のみなさんとの新しいつながりを探しています。
- 定例会で語りきれないところは、お酒の時間も作り、つながりを深めています。
- つながりが広がると仲間が増えて、少し安心します。
- つながりを深めると具体的なアクションに発展することがあります。
- ミズベであれこれしてみたいとき、お悩み相談したいとき、まずは、ミズベリング縁をご利用下さい。



ミズベリング縁定例会



出張定例会のあとの「つながり」



アクション①（宍道湖で湖上ゴザ走り）



アクション②（尾原ダムで浴衣とSUP）

■主催者：ミズベリング縁、NPO法人水の都プロジェクト協議会

■問合せ先：ミズベリング縁（出雲河川事務所計画課内） [TEL：0853-20-1761]

- E-mail：izumo@cgr.mlit.go.jp
- ホームページ：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/mizube/mizbering/index.html
- Facebook：「ミズベリング縁」で検索

- 活動している水辺：旭川 後楽園派川
- 第1回開催状況：平成27年10月31日（土）約100人参加

旭川では、地域の経済界や大学、関係行政機関が一緒になって、水辺の利活用や岡山後楽園、岡山城周辺を中心としたまちづくり、それらと連携した旭川全体にわたる川づくり等について意見交換を行い、今後の河川整備やまちづくりに資する旭川の水辺再生戦略を検討するため、「岡山市中心部における旭川水辺空間再生に向けた戦略会議」（略称：旭川水辺再生戦略会議）を設置しています。

旭川水辺空間の再生には市民・NPO等との連携・協働が不可欠であるため、市民や岡山を訪れる皆さんに、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川に親しんで頂くとともに、「かわ」と「まち」づくりについて一緒に考えることを目的とした「ミズベリング岡山旭川」を開催しました。

天候にも恵まれ青空の下、「桜の植樹・オープニングイベント」「旭川かわまちウォーク」「カヌー体験」などにより旭川の水辺が持つ魅力を身近に感じていただきました。

ワークショップでは、水辺利用に関してのトークセッションの後、旭川と岡山城・後楽園周辺のまちづくり、川づくりについて、「集う・憩う・楽しむためのアイデア」を共通テーマとして討議を行い、水辺への緩やかなスロープの設置、エコツアー、巨大な桃を浮かべる、屋形船などの舟運、ベンチ・オープンカフェなどの休憩所を設ける、アイデアコンペ開催など様々なアイデアをいただきました。

今後は、ミズベリング等のにぎわい創出イベントを継続するとともに、これらのアイデアを活かし、「安全・安心な市民の憩いの空間、岡山後楽園・岡山城と一体となった魅力ある空間としての旭川の再生へ！」を目指して、市民・NPO等のみなさんと連携・協働して、岡山城・後楽園周辺のにぎわいの拠点づくりに取り組みます。

水辺の体験



かわまちウォーク



カヌー体験



オープンカフェ社会実験

ワークショップ

廃校を活用して地域のコミュニティの場を再生する活動を実施中の旧内山下小学校で開催！！



ワークショップの状況



集合写真

- 主催：ミズベリング岡山旭川実行委員会（岡山市、岡山大学、岡山商工会議所、岡山県、国土交通省岡山河川事務所、NPO法人ENNOVA OKAYAMA、岡山カヌークラブ、（公財）岡山市公園協会、（公社）おかやま観光コンベンション協会）
- 後援：旭川南部漁業協同組合連合会

■問合せ先：中国地方整備局 岡山河川事務所 調査設計課【TEL：086-223-5187】

- ・E-mail： info-okakawa@cgr.mlit.go.jp
- ・ホームページ： <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/mizbering.html>

- 活動している水辺：太田川 市内派川
- 第1回開催状況：平成26年10月18日（土）51人参加

広島市は太田川の6本の派川が流れる水辺のまちであり、これまでも『水の都ひろしま』構想を立ち上げ、「つかう」、「つくる」、「つなぐ」を基本とした20の方針をたてて水辺の活性化に取り組んでおり、太田川では、全国で初めての「水辺のオープンカフェ」や連続的な河岸緑地の整備を行うなど、水辺活用先進都市となっています。

そこで「水辺を楽しまなきゃもったいない！」をテーマに、平成26年10月に中国地方初のミズベリング会議となる「ミズベリング広島会議」を開催しました。

第一部では、広島市内を流れる太田川でカヌーやSUP(スタンドアップパドル)、雁木タクシーや遊覧船による水辺の遊びを体験。

第二部のワークショップでは、事務局の呼びかけに賛同し参加した地元大学生を中心に、活気ある意見交換が行われ、新たな水辺の魅力、賑わいの期待が持てるような暮らし、レジャー等に関する大胆で奇抜なアイデアが多く飛び出しました。

今後、更にワークショップ等により、その意見や提案を具体化させ、更に『水の都ひろしま』において、まちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出を進めて行きたいと考えています。

(第一部)水辺の遊び体験



遊覧船(原爆ドーム周辺)



SUP体験



水辺のコンサート(元安川)



オープンカフェ(京橋川)

(第二部)ワークショップ



ワークショップ討議状況



集合写真

- 主催：ミズベリング広島会議事務局（中国地方整備局河川部河川計画課）
- 協力：広島県、広島市、公立大学法人広島市立大学、NPO法人ひろしまジン大学、NPO法人雁木組、NPO法人元気むらさくぎ、一般社団法人三次市観光協会、(株)アクアネットサービス

■問合せ先：中国地方整備局 河川部河川計画課 河川環境係【TEL：082-221-9231】

- ・E-mail： riverenv@cgr.mlit.go.jp
- ・ホームページ： <http://www.cgr.mlit.go.jp/mizbering/index.html>

- 活動している水辺：吉野川・旧吉野川・今切川
- 第1回開催状況：平成26年 11月27日（木）37人参加

吉野川水系ミズベリング徳島会議 ～未来創造型アイデア会議～

「水都徳島で水辺のアクションが増えれば、街はもっと輝く」という思いから、今回、徳島で、「吉野川・旧吉野川・今切川」の水辺空間を生かした地域づくりのための「吉野川水系ミズベリング徳島会議」を開催しました。

水辺利用を考えている皆様から「吉野川・旧吉野川・今切川の水辺利用」について、意見交換を行い、「未来の川づくり」に繋げていくことを目的とするもので、様々な方面から水辺空間の創世に興味のある方々総勢37名の参加のもと、常識にとられない自由な発想から、多くの意見や「夢」が語られました。

会議で語られた意見や夢

- ・水辺の砂浜、川へ飛び込める滑り台、川で泳ぎたい。
- ・「おしゃれ」で「はなやかな」仕掛け。水上での音楽会。水辺のカフェやレストラン。
- ・橋全体に派手なイルミネーションやライトアップ。護岸にLED埋込、橋の下にトリックアートなどを描くなど目を引く取り組み。
- ・旧吉野川や今切川には浮き桟橋の設置。船で行ける店（川の駅・食事が出来ること）。
- ・吉野川の河川敷でヤギやポニーの放牧。
- ・水辺にはトイレ・電気・水道が必要。
- ・スリルとカッコよさとお笑いをテーマに。ジェットボードをしたり、船の上に潜水艦の上部を重ねた船を作ったりして運航する等。
- ・渡し船の復活や水上飛行機の運航などのイベント。水際物件の価値を高めるしかけをしたい。

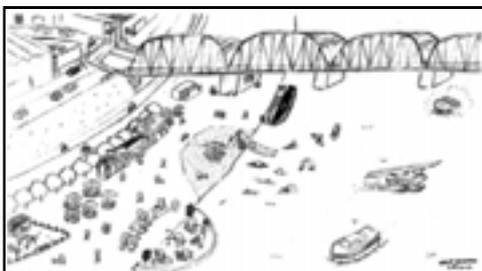


未来の吉野川

水際
コンサート

水辺
ビーチ

水上
飛行機



未来の今切川

水上
レストラン

水上
カフェ

LED
ブリッジ



平成27年度の取組①

水辺で乾杯in新町川

(平成27年7月7日 新町川水際公園)

朗読を聴きながら、
夜の水辺で「乾杯」

7月7日、「水辺で乾杯in新町川」が徳島市中心部の新町川水際公園Ukiうき棧橋周辺で開かれ、約150人の方々が参加しました。

ドレスコードである白いものを身につけた参加者全員が、「タナバタイム」の午後7時7分、原秀樹 徳島市長の音頭で白ワインを片手に乾杯しました。

元四国放送アナウンサーで県内の朗読グループ「風」の主宰である岩瀬弥生子さんをはじめメンバーら4人が「銀河鉄道の夜」などを朗読し、来場者をうっとりさせました。また、マンドリンの演奏などもおこなわれ、七夕の夜を演出しました。

午後8時からは会場のライトダウンをしろウソクの点灯が行われ、幻想的な水辺で仲間達と談笑し、ひとときの涼を楽しみました。

平成27年度の取組②

吉野川水系ミズベリング徳島会議(中流編)

～吉野川中流域の未来を考える会議～

- 活動している水辺：吉野川（中流域：美馬市・つるぎ町・東みよし町・三好町）
- 開催状況：平成28年 1月27日（水）18人参加

今回は、吉野川の中流域に位置する美馬市・つるぎ町・東みよし町・三好市において河川を利用した活動を展開している方々に集まっていただき、それぞれの河川に対する「夢」を語り合いました。

語られた「夢」

- ・この地域(吉野川)の世界遺産登録を目標にする。
- ・子どもの川に関心を持ってもらうような子どもが楽しく遊べる川づくり
- ・梶取船をあげられるような「川の駅」を作る
- ・川に入る通路など子どもが川に入れる環境作り
- ・河川敷でラリーをやりたい
- ・川でイベントをするのにお伺いを立てるのはやめる。
- ・筏の一日復活。美濃田から貞光まで(10km以上)の筏レース
- ・水辺プール、滑り台やロープを使って川に入りやすい楽しい環境作り
- ・吉野川で遊んだ思い出を子どもに作らせる取組をする。

■主催者：NPO法人新町川を守る会・（中流編）水辺の楽校運営協議会

■問合せ先：新町川を守る会〔TEL：090-3738-2084〕

徳島河川国道事務所地域連携課〔TEL：088-654-9175〕

- ・E-mail：（新町川）nposhinnmachigawa@mb2.tcn.ne.jp（徳島）skr-tokusa63@mlit.go.jp
- ・ホームページ（新町川）<http://www2.tcn.ne.jp/~nposhinmachigawa/>
（徳島）<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

ミズベリング東みよし会議

徳島県

東みよし町

- 活動している水辺：東みよし町内の吉野川水系（本流+19支流）
- 第1回開催予定：平成28年 3月 6日（日）50人参加予定

東みよし町を南北のエリアに分けるように流れる吉野川。その流域には、徳島県の名勝・天然記念物に指定され、四国の水辺八十八カ所にも選定されている「美濃田の淵」と、かわまちづくり計画に登録されている「三庄地区」という、特徴的な水辺があります。美濃田の淵は、地域の観光資源として、吉野川ハイウェイオアシスを核とする観光開発が進められています。三庄地区は、既に一部が「ぶぶるパークみかも」として、住民のスポーツの場や憩いの場として広く利用されています。



ミズベリング東みよし会議は、観光まちづくりの観点により、町観光セクション内に事務局を設置し、美濃田の淵と三庄地区を中心とした、町内吉野川水系の各流域で既に行われているさまざまな取り組みについて、そのサポートや広報活動を行います。また、各活動主体の相互連携を図るための取り組みや域外のミズベリング活動団体との交流を図る取り組みを行います。



■主催者：ミズベリング東みよし会議実行委員会

- 問合せ先：東みよし町産業課 [TEL：0883-79-5345]
- E-mail：hideto-matsuura@town.higashimiyoshi.lg.jp
- ホームページ：http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/
- Facebook：準備中

- 活動している水辺：那珂川・博多川・薬院新川
- 第1回開催状況：平成27年 2月27日（金）50人参加



福岡地域戦略推進協議会 都市再生部会 ミズベリング分科会では、川(那珂川、博多川、薬院新川)と公園を活かした福岡都心部の魅力向上策について検討しています。昨年度は、現地視察、先進事例視察(広島、韓国:清溪川)等の実施、ワークショップ・セミナー等の開催を経て、水辺の活性化に向けた方策を数多く考えました。

今年度は、これらの方策の中から実効性が高く、かつ担い手が見つかりやすいと思われるものを選定し、具体的な実施施策について検討を進めているところです。

今後、ライオンズクラブ世界大会、水上公園のオープン、博多祇園山笠など、イベントや祭りで多くの人が集う6月～7月中旬を目途に、ミズベリング福岡大会の開催や、水辺活性化の取り組みを実現したいと考えております。



(韓国:清溪川視察)

取り組み内容が確定しましたらミズベリング事務局様を通してご案内させていただきます。その際は、ぜひご来福賜りますよう、お願いいたします。



(ワークショップ)



(福岡水辺活性化セミナー)



(福岡県豊前市:ネコヤナギ視察)

■主催者：福岡地域戦略推進協議会

■問合せ先：福岡地域戦略推進協議会

福岡市中央区天神1-10-1 市役所北別館6階（公財）福岡アジア都市研究所内

・E-mail：info@fukuoka-dc.jpn.com

・ホームページ：www.fukuoka-dc.jpn.com

・Facebook：https://www.facebook.com/FukuokaDC

- 活動している水辺：大分（日田）、福岡（筑後）、佐賀（佐賀）流域
- 第1回開催状況：平成28年 2月18日（木）100人参加予定

はじめよう、筑後のミズベリング

「ミズベリング」とは言わないまでも流域で緩やかな輪(リング)をもつ大分(日田)、福岡(筑後)、佐賀(佐賀)の川。

今回は、ミズベリングセミナーと称して、ミズベリングの勉強会を開催します。

1部 講義 先進地のミズベリング事例と河川法規制緩和について学ぶ

2部 実践 ミズベリングワークショップ

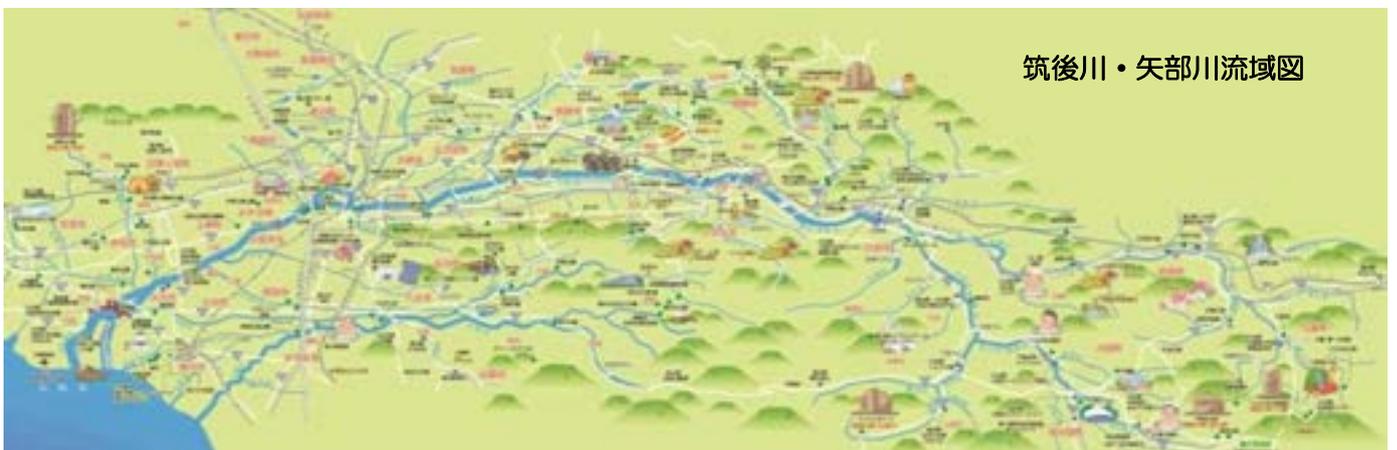
ミズベリング5つのアクション①つなぐ②かたる③ためす④つくるのうち参加者をグループに分け、上中下流、異業種間で①つながって、川の未来を②かたってもらおう。

たとえば、こんなこと…

かつては、舟運で賑わいを奏した若津港(筑後川下流)をとりもどきたい
300年の眠りから目覚めた「矢部川 くすべえ」を知って欲しい
世界農業遺産に認定された山田堰(筑後川中流)をもっと見に来て欲しい。
社会実験中の日田あゆやな(筑後川上流)このままつづけたい。
筏で上流から下流まで下ってみたい。

などなど 夢はたくさん。

筑後川・矢部川流域図



筑後川総延長 143km

矢部川総延長 61km 流域15市町の方々が集う予定

筑後水辺のポテンシャル



■主催者：久留米大学 経済社会研究所 筑後川プロジェクト

■問合せ先：久留米大学（NPO 筑後川流域連携倶楽部） [TEL：0942-33-2121]

・E-mail：kic@kurume.ktarn.or.jp

・ホームページ：

・Facebook：

- 活動している水辺：瑞梅寺川（福岡市西区・糸島市）
- 第1回開催状況：平成27年 11月22（日）・23日（月）27人参加

福岡市西部に位置する瑞梅寺川は、自然と歴史に恵まれた河川です。歴史的には、「魏志倭人伝」に伊都国と古代からの記録が残っており、そして河口の今津干潟は、希少種のカブトガニの産卵・生育地、クロツラヘラサギの越冬地もあります。

<活動内容>

瑞梅寺川は、自然と歴史に恵まれた河川ですが、様々な課題も抱えています。そこで瑞梅寺川流域のあり方を考える方法として「ミズベリング瑞梅寺川会議」第1回を企画、実施した。その目的は「瑞梅寺川流域の山から海までの自然や歴史を探訪し、そのつながりと抱えている問題について再発見する。また、我々の身近にある瑞梅寺川流域や今津干潟の今後の行く末についてディスカッションを行う」とした。

<今後やりたいこと>

- ・大学と連携した河川流域のメカニズムの解明 ・河岸の広葉樹の植林 ・カキ殻の島
- ・カキ礁のブランド化 ・マリンスポーツができる空間創り ・自然と共生できる里海創り

11月22日(日)		11月23日(月)	
10:00~	九州大学系キャンパスCE40号棟2階会議室でレク、情報共有	10:00~	九州大学系キャンパスCE40号棟2階会議室でレク、情報共有
11:30~	キャンパス内の瑞梅寺川流域エリア他見学	11:10~	瑞梅寺ダム見学
13:00~	今津干潟見学 クロツラヘラサギの解説 (九州大学名誉教授小池裕子博士)	12:00~	ランチセミナー 「河川流域の歴史の変遷や水循環基本計画について」 (NPO水フォーラム代表理事竹村公太郎様)
14:30~	瑞梅寺川流域見学	13:30~	今津干潟見学
15:30~	瑞梅寺ダム見学	15:30~	ディスカッション (今津公民館)
16:40~	まとめ		

イベントスケジュール



今津干潟のカキ礁



カブトガニ産卵



クロツラヘラサギの講義



ディスカッションの様子

■主催者：ミズベリング瑞梅寺川会議

■問合せ先：福岡県福岡市西区元岡744番地九州大学W2号館1010号室
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室 清野聡子・穴井貴也
・Tel/Fax：092-802-3437
・Mail：seino@civil.kyushu-u.ac.jp

■活動している水辺：岩原川

■第1回開催状況：平成26年10月26日（日）約70人参加

長崎駅前を流れる小川・岩原川。

この川が存在があまり知られていないのは、
約半世紀に渡り川の上に市場が建っていたから。

3年前、老朽化により市場と暗渠が撤去され、
都心に新たな水辺が現れました。

市は岩原川周辺を「長崎駅と都心を結ぶ重要な場所」
として整備することを決め、

平成25年度に環境整備に関するワークショップを開催。

行政と市民で「岩原川エリアみらい計画」を作成し、
「都心のオアシス」を目指すことに。

岩原川会議はこの計画を市民の立場から応援します。



第1回ミズベリング岩原川会議



【岩原川周辺環境整備】

WSの結果を基に長崎市が河川周辺
の環境整備を行っています。



【岩原川清掃】

市民環境団体や地元住民と一緒に
清掃活動を行っています。



【水辺で乾杯！】

平成27年7月7日「全国一斉水辺乾
杯」に大雨のなか55名が参加！



【エコライフフェスタ出展】

市の環境イベントにブースを設置
して岩原川の魅力を伝えています。



【ミズベリング岩原川女子会】

市役所で働くお姉さんが岩原川周
辺でランチしたりしています。



【写真絵本制作】

正義の味方「イワハラライダー」が
河川環境保全を子供らに伝えます。

■主催者：ミズベリング岩原川会議実行委員会

■問合せ先：長崎都市・景観研究所 [TEL：090-7539-6627]

- E-mail：info@null-project.net
- ホームページ：http://null-project.net/mizbering/
- Facebook：https://www.facebook.com/iwaharagawa

- 活動している水辺：白川
- 第1回開催状況：平成27年 5月16日（土）100人参加

1. ミズベリング白川74 「ミズベリング熊本白川会議」

熊本市民と一緒に考え河川整備を進めてきた白川「緑の区間」の竣工式に併せて、『白川から始まる新しいミズベの未来』をコンセプトに社会実験として『ミズベリング白川74』を実施しました。

この『ミズベリング白川74』は、白川を考えてもらうきっかけ作りとしてミズベリング熊本白川会議を開催し、また、水辺では、カフェ、マルシェ等といった民間事業者による新しい利活用を体感してもらうというものでした。



ワークショップ



ワークショップ



パネルディスカッション



集合写真

白川の未来を語り合うワークショップでは、川のことを熟知している「交番」のような窓口「川番」がほしい。といった面白いアイデアがでました。ワークショップ後は、「理想の白川像」を描いた絵を見ながら、前熊本市長や熊本副市長、熊本大学教授、河川利用団体代表、熊本青年会議所理事長、ミズベリング事務局からコメントをもらい、「水辺から始まる地方創生！！無限に広がる可能性」と題してパネルディスカッションを行い、盛り上がりました。

1. ミズベリング白川74 「水辺の状況」



オープンカフェ



マルシェ



塘あかり

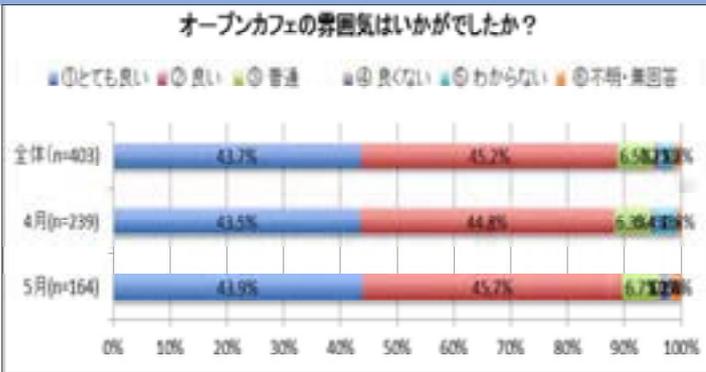


Eボート

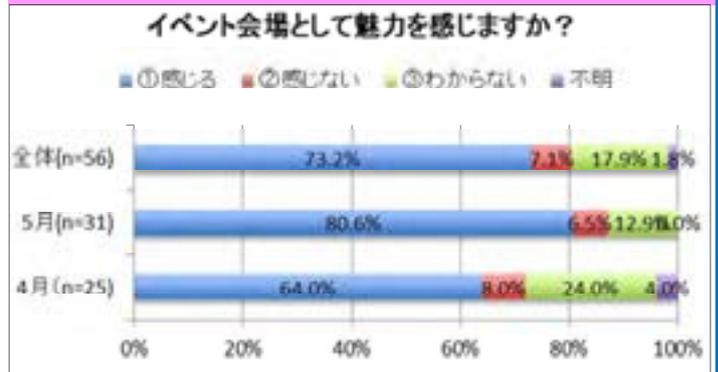
白川の魅力を最大限に引き出すため、水辺のオープンスペースでは、水辺の演奏会、オープンカフェ、マルシェ、Eボート体験といった盛りだくさんの企画で水辺の賑わいを作り出しました。夜には1,000個のキャンドルを使って、熊本大学の学生がデザインした「塘あかり」が水面に映り、幻想的な雰囲気醸し出していました。この取組には4日間で総勢一万人以上の方に来場頂きました。

3. ミズベリング白川74「社会実験のアンケート結果」

アンケート結果（来場者）



アンケート結果（出店者）



4. 都市・地域再生等利用区域の指定に向けて



協議会の様子

ミズベリング白川74及びアンケート結果を踏まえ、今後、日常的に河川敷を活用した民間活動を行うために協議

会を設置しました。協議会メンバーは、地元自治会、中心市街地、大学、経済団体等です。主な検討内容は、ルール作りを行い、都市・地域再生等利用区域に指定することです。

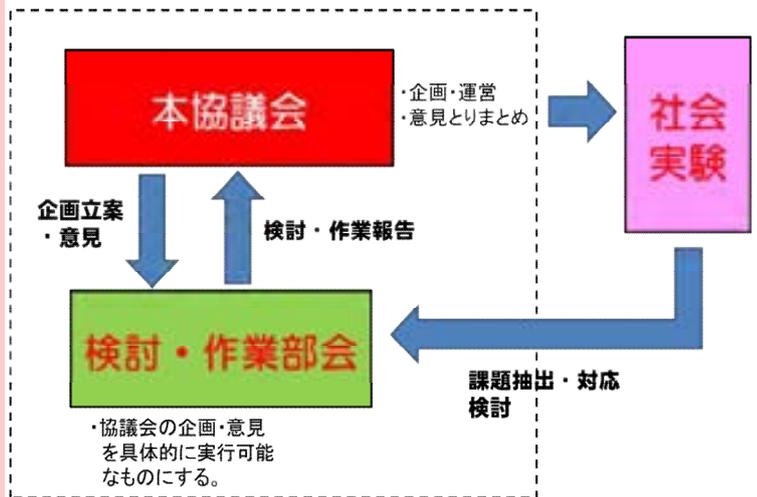
【協議会のキーワード】

- ・本物の公民連携
- ・補助金に頼らない
- ・公共への投資
- ・民間主体

【役割分担】

民間：協議会運営、資金調達、ルール検討等
行政：事務局、アドバイス（法律）

協議会の進め方



※検討・作業部会のメンバーは民間のみ
※社会実験を繰り返しながら検討していく

■主催者：ミズベリング白川74実行委員会

(熊本大学、(一社)熊本青年会議所、地元4自治会、熊本市、国土交通省熊本河川国道事務所)

■問合せ先：国土交通省熊本河川国道事務所 調査第一課 [TEL：096-382-1111]

- ・E-mail：
- ・ホームページ：
- ・Facebook：

- 活動している水辺：甲突川（こうつきがわ）ほか
- 第1回開催状況：平成26年11月13日（木）100人参加

◆ミズベリング鹿児島の目指すべき目標

これからの鹿児島の水辺が「にぎわいや憩い」の空間として地域や市民に親しまれ、私たちのくらしの身近なものとなるような未来の鹿児島の水辺の創出を目指し、積極的な市民参加や民間参画型の「ミズベを育てる」ための取り組みを推進していきます。

◆H26.11.13（木） 鹿児島の水辺の未来を語ろう ～ミズベリング鹿児島会議～ 実施しました。

今後、鹿児島で民間企業を巻き込んだミズベリングを展開していくためには、行政サイドの盛り上がりが必要であることから「ミズベリングって何か？」まずは県内河川・観光行政に携わる職員にこの意義を理解してもらい、近年の水辺の利活用の動向などの情報共有を目的として本会議を開催いたしました。

会議は本省河川環境課の藤井調整官の「川ろうぜ！」の話に始まり、一気に会場がミズベリングムードになると、事務局の山名さんから「一体どこから妄想だった？」のか分からなくなるような、ワクワク盛りだくさんの水辺の活用事例の紹介などをご講演いただきました。

そのほか、県内河川の取り組みの紹介や、今後ミズベリングを展開していく上での課題などについて意見交換を行いました。

参加者からは「川の見方が変わった」「河川行政って楽しそう」「川でこんな事もできるようになったんだ」等、たくさんの嬉しい声をいただきました。



◆H27「ミズベリング鹿児島」の活動状況

ミズベリングを多くの方々に周知するため、県内河川で行われるイベントに参加し、ミズベリングを紹介するチラシ配りや、水辺を考える体験コーナー、案内ブース等を設置し、PR活動を行いました。またH28.2.26には、市民・民間・行政を対象に『かごしま河川ミズベフォーラム』を開催し、「これからの水辺環境と利活用を考える」こととしています。

◆今後の展望

今後もこのようなミズベリング周知活動を続け、民間活力の導入の実現に向けて活動を継続していきます。

■主催者：ミズベリング鹿児島

【甲突川の未来予想図】

■問合せ先：鹿児島県土木部河川課治水係 [TEL：099-286-3596]

- E-mail：chisui@pref.kagoshima.lg.jp
- Facebook：https://www.facebook.com/MIZKAGO/



